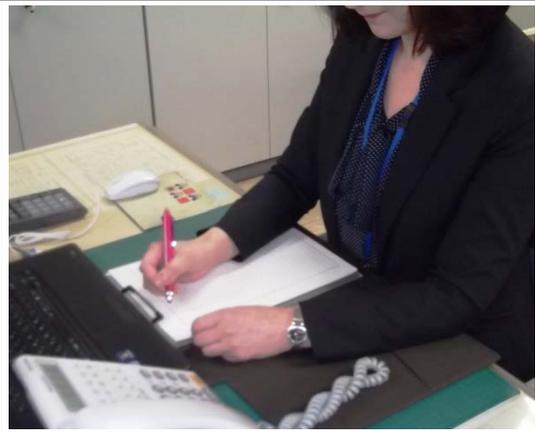


女性職員からのメッセージ



高松 真希 (Maki Takamatsu)

札幌国税局 調査査察部 査察管理課
平成3年採用

H15. 7月	滝川税務署 総務課
H18. 7月	札幌国税局 調査査察部 査察第1部門
H22. 7月	税務大学校札幌研修所
H24. 7月	札幌国税局 総務部 厚生課
H25. 7月	現職

※ 所属は平成28年1月現在です。

現在のしごと

査察は、悪質な納税者を摘発して刑事責任を迫ることにより、一罰百戒の効果を通じて、申告納税制度の維持及び適正・公平な課税の実現を図るという重要な使命を担っています。私たち査察官は日々脱税に関する情報収集を行い、脱税内容等の検討を行った上で裁判官へ許可状を請求し、その許可状に基づいて強制調査を実施します。強制調査実施後は差し押さえた証拠物件の検討や質問調査を行い、最終的には検察官へ告発を行います。

現在は経済取引の広域化、国際化及びICT化により脱税の手口がますます複雑・巧妙化しているため、より一層の専門的知識が必要とされる仕事です。

国税の魅力

国税は公務員の中でも専門性が高く、税法のほか、国際化及びICT化等に対応する専門的知識が求められる中、一貫した研修制度により税務職員として必要な知識を習得することができます。

また、企業や個人事業者の方に直接関わることで経済取引の実情を肌で感じることができます。

私は現在、査察で情報収集を行うセクションに所属しており、張り込みなどの内偵調査が長期にわたることもあります。脱税の確証をつかんで強制調査に着手し、大口かつ悪質な脱税の全貌が明らかになったときの達成感や充実感は計り知れないものがあります。



国税を目指す女性へのメッセージ

私が査察官となった当時、札幌国税局の査察官として活躍していた女性は僅かでしたが、現在では大幅に増員されています。

また、育児中や採用後間もない若い女性職員も査察官として登用されており、悪質な脱税者の摘発に向け、日々自己研さんに努めています。

国税を目指す皆さんには、悪質な脱税者を根絶するためにも、税務署で様々な経験を積んでいただき、将来は査察官として活躍されることを期待しています。